

産業廃棄物不法投棄現場汚染状況等調査業務

調査報告書

概要版

平成16年8月

岐阜市環境事業部産業廃棄物特別対策室

大日コンサルタント株式会社

1. 調査の目的

本調査は、「産業廃棄物不法投棄現場(場内)の緊急調査」という位置付けとして、不法投棄現場内の現況と汚染状況の概要を把握する目的で実施した。

2. 調査内容と調査結果の概要

調査項目	調査内容	調査結果の概要
資料調査	現況と旧地形図を比較することにより、不法投棄された廃棄物量およびその高さの把握	推定廃棄物量 = 約 56.7 万 m ³ 、積み上げ高さ(最大) = 約 50m 最上部に堆積された廃棄物(混合廃棄物 = 約 1.4 万 m ³ 、木材 = 約 2 千 m ³)
地形地質踏査	場内地形状況、地質状況、斜面状況等を踏査により確認	場内地形は、地山切土と廃棄物盛土があり、ほとんど人工改変地形をなす。 砂岩、泥岩およびその互層が分布している。 切土斜面は小崩壊が生じ、廃棄物盛土斜面は比較的安定している。
環境調査	水質・底質調査：場内調整池・pH処理槽の水質・堆積物調査	水質は「排水基準(参考値)」にすべて適合した。 堆積物は「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準(参考値)」にすべて適合した。
	地下水・湧水調査：地下水観測井戸の設置と地下水調査	地下水は「地下水環境基準」に適合した。 湧水は「排水基準(参考値)」に適合した。
	大気環境・悪臭調査：大気環境調査と悪臭調査	大気環境は「大気汚染に係る環境基準」に適合した。 悪臭は、最上部において臭気濃度(多成分の混じった臭いの指標)が敷地境界線上の規制値「官能試験方法による悪臭対策指導要領(岐阜県)」(参考値)を上回った。
廃棄物調査	廃棄物ボーリング調査：廃棄物が最も厚く積み上げられた場所にて、内容物の確認と有害物質の有無を確認	土砂と廃棄物を交互に埋める手法で、投棄を行い、深さ 50m程度まで廃棄物が確認できた。 廃棄物の内容物は木くず、コンクリートがらが多い建設系廃棄物であり、特別管理産業廃棄物に該当するような有害な物は確認されなかった。 廃棄物層の内部ガス(表面から 9m程度)からは、高濃度のメタン、硫化水素が検出されたが、周辺への拡散は確認されていない。

分析機関：中外テクノス株式会社



航空写真を用いた現場鳥瞰図



昭和 50 年の航空写真から作成した現場鳥瞰図



現在の航空写真から作成した現場鳥瞰図

航空写真から見た土地改変
平成 11 年頃から急激に土地改変が行われている



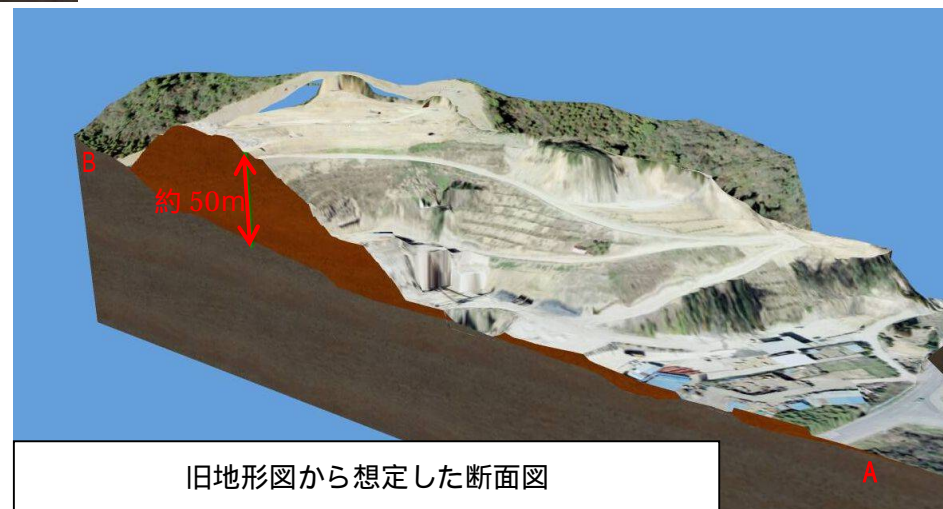
航空写真
平成 10 年 12 月



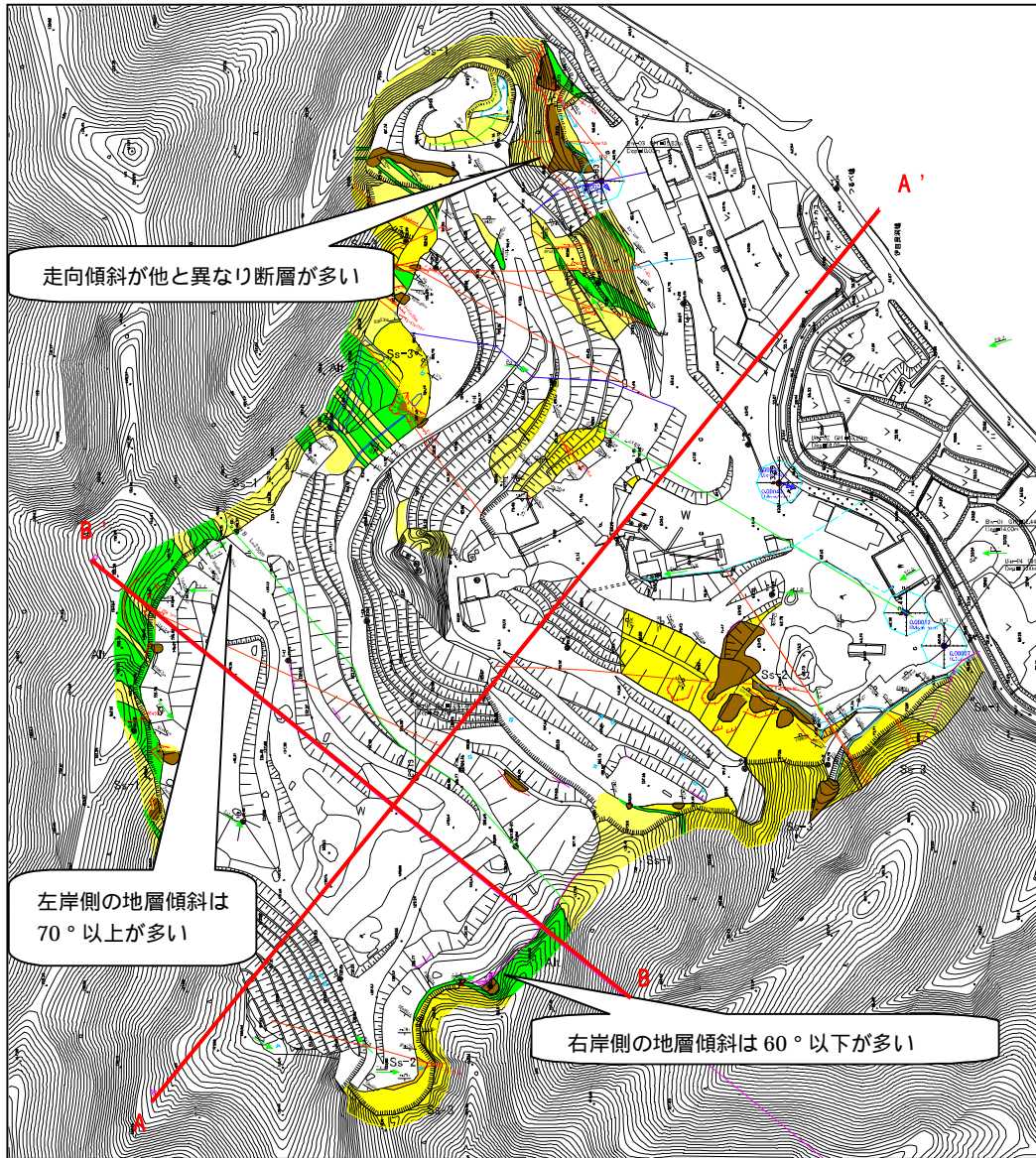
航空写真
平成 11 年 12 月



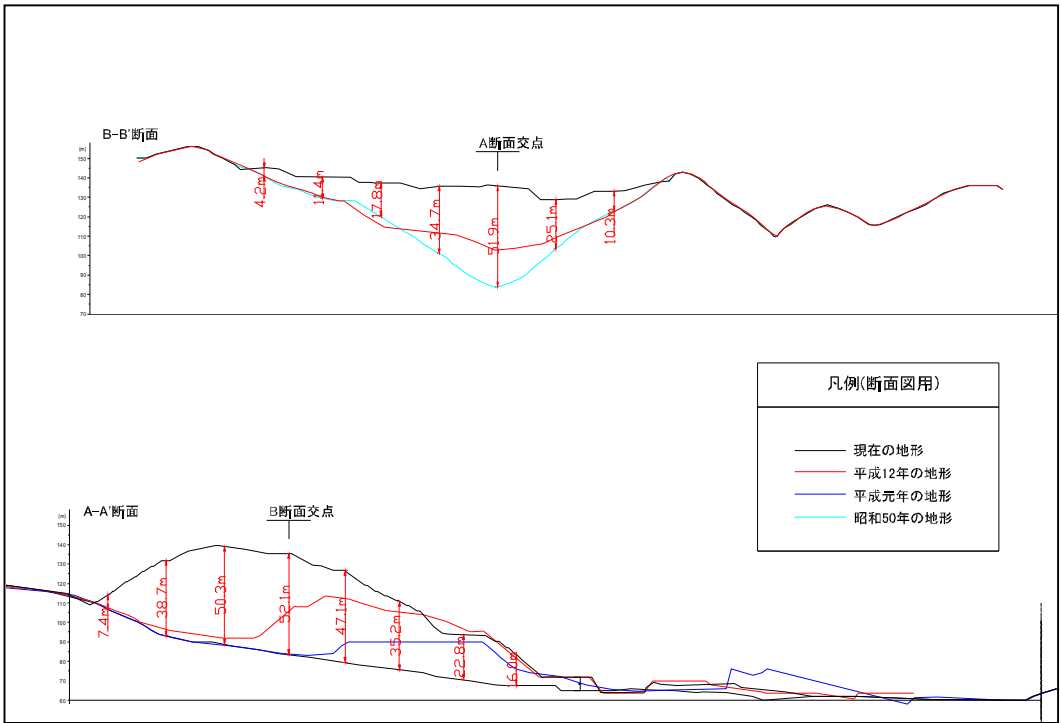
航空写真
平成 16 年 1 月



旧地形図から想定した断面図



地質図 S = 1 / 3000



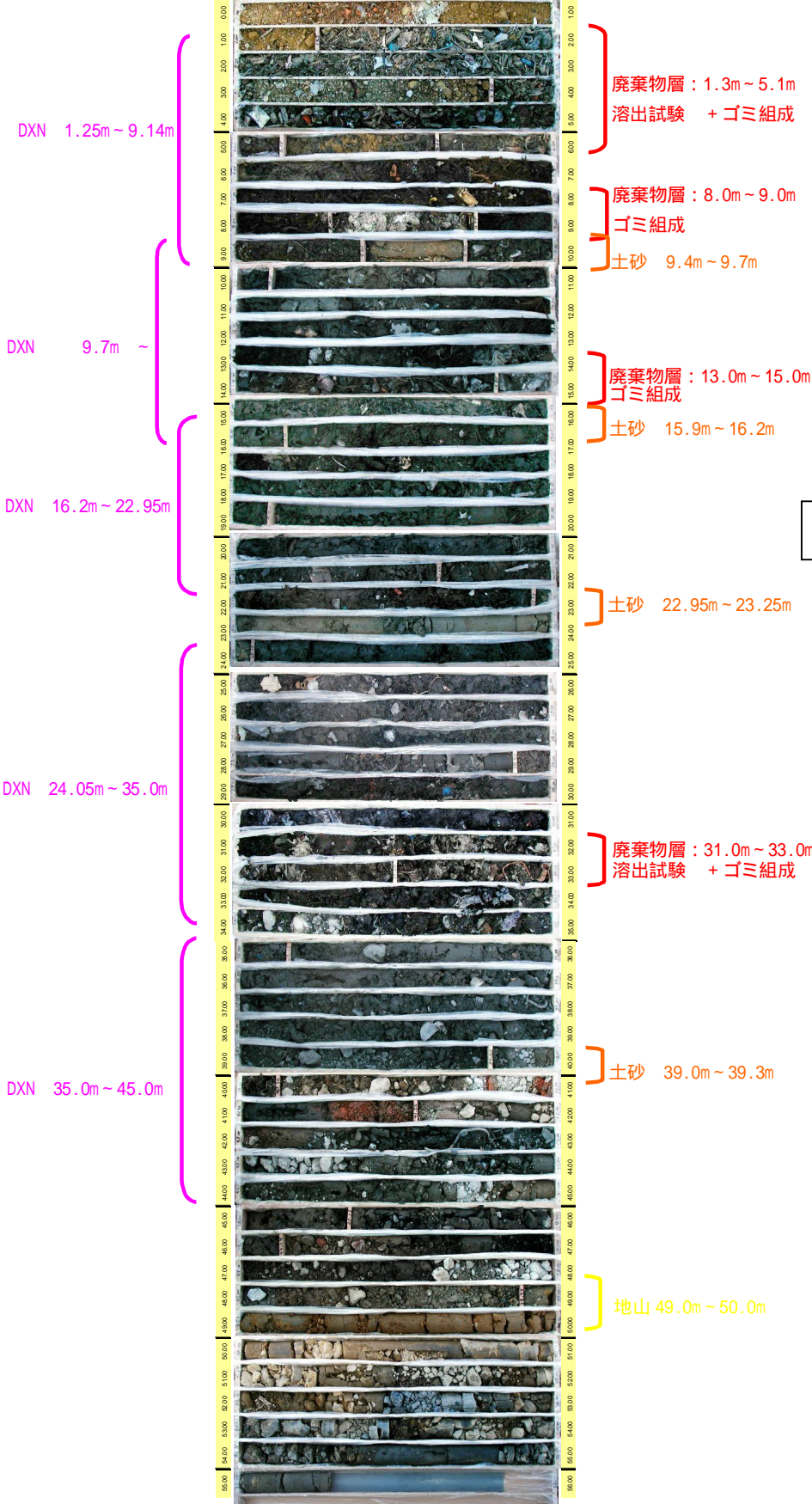
断面図 S = 1 / 4000

凡例

	廃棄物 (場内)
	崖錐堆積物 (崩土)
	砂岩泥岩互層
	細粒砂岩
	砂岩
	塊状砂岩

現地調査と資料調査の結果
約 9 万²の面積に約 56.7 万 m³の廃棄物が最大高さ約 50mで投棄されている。

第2030号産業廃棄物不法投棄現場汚染状況等調査業務委託
 B-01 調査深度 0.00m ~ 55.20m
 廃棄物ボーリングコア



ボーリング調査の状況

- ボーリング調査によって確認された内容物
- 建築廃材
 - ・コンクリートがら
 - ・瓦
 - ・石膏ボード
 - ・タイル
 - ・紙くず
 - 木類
 - ・角材
 - ・合板
 - ・竹
 - プラスチック類
 - ・ビニール(紐等)
 - ・プラ荷掛紐
 - ・塩ビ管
 - 陶器・ガラス類
 - ・ガラス片
 - ・陶器くず
 - 金属類
 - ・空き缶
 - ・ボルト
 - ・釘
 - ・アルミ片
 - 布類
 - ・じゅうたん
- 上記のほかにも、雑多な物が確認された。

ボーリングコア写真